



第1013号
2006年11月12日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◆11月の代禱・信施奉献先
▽笹島キリスト教連絡会のため
▽障害者週間のため▽滝乃川学園のため▽人権活動を支える主日(11月最終主日)

◆教役者レクイエム

11月15日(水)午前10時半
主教座聖堂

説教 司祭 吉村庄司

▽司祭杉浦義道▽主教後藤文蔵▽司祭西村敬太郎▽司祭鈴木光武▽司祭矢崎健一▽執事島田弟丸▽司祭坂野移文▽司祭竹田鐵三▽司祭鈴木勉▽司祭栗飯原謙▽伝道師水上春枝▽司祭藤井慶一

◆としえの平安

10月6日 田縁 郁男(76)

聖十字

今週・来週の予定

11月12日~25日

- 12(日) 聖霊降臨後第23主日
主教巡回 聖マリア教会
- 13(月) 財政委員会
- 14(火) 銀座朝拝会
常置委員会
- 15(水) 教役者レクイエム(主教座)
人権委員会(聖バルナバ)
環状G牧師協議会(立教)
- 17(金) 竹内講座:教会改革の足跡
- 18(土) 西原講座:聖公会の信仰と生活(神田キリスト)
- 19(日) 聖霊降臨後第24主日
主教巡回 聖マルチン教会
外濠G教会協議会(聖テモテ)
山手G教会協議会(聖十字)
多摩G教会協議会(聖マルコ)
環状G教会協議会(聖マルチン)
- 20(月) 幼稚園委員会
- 21(火) 礼拝音楽委員会
聖職養成委員会
- 23(木・休) 第103(定期)教区会
(アンデレホール)
- 24(金) 信仰と生活委員会

10月7日 多賀 雪子(84) 聖十字
10月23日 立花 優(84) 聖アンデレ
10月24日 津曲 貞春(86)
10月30日 酒井 聖マーガレット
聖アグネス 竹一(89)

◆11月銀座朝拝会

第2・4火曜朝7時半
14日 話・前田良彦司祭
28日 話・金子 眞 (聖マルコ教会)
(横浜・林間聖バルナバ教会)
照会電話||BSA03(3436)4325

(この用紙は再生紙を使っています)

私は建築士であるが、若き日に修行先のゼネコンで先輩上司から受けた教えと、その時の小さな発見を「恵み」として今も大切に携えている。
名高い建築にしか関心はなかった私に向けられた言葉は「金をかけた立派な建物から知識は得られるが、知恵は学べない。ごく有り触れた家屋の解体現場を数多く見るように」というものだった。
気が進まぬまま足を運んだ解体現場には心躍るものは何もなかった(粉塵は盛んに舞い踊っていたが...)。
建材や工法の耐久性など技術的知識は得られたが、先輩上司が求めた「プラスチックの発見」が見出せないでいた。数度と通ううち、とある老朽化家屋の外壁が

《恵みに生かされて》
建物解体現場での発見

羽深 幸夫

剥された工程に出合った。
通し柱が腐り土台から離れ、荷を支えられない状態で平然と建っている...。
限なく見回すと、仕上用に組まれた非力な部材達が団結して支えている!
別の場所では、基準では好ましくない錆び付いたボルトが、骨組みをより固く結び付け壊し難いものになっている!
これこそ上司の語ってくれた「解体現場からの知恵だ!」と解り、私にとって、まさに「恵みを知る」瞬間であった。
我が教会の信徒構成も高齢化傾向にあるとは言え、見えざる所で見えざる「支えと働き」を恵みとして受けているのではないだろうか...。
(東京諸聖徒教会信徒)

信仰と生活委員会報告

(10月27日)

＊報告事項 ・07年度活動予算提出
 ・07年度教区予算案の見込み
 ・各種講座講演会関連 ・教会グループ別活動報告 ・その他
 ＊協議事項 ・07年度教区代祷及び信施奉献先の検討 ・新規講演会研修会の検討(継続)

▽ナザレ修女会で、降臨節を前にした黙想会を行なう。11月24日(金)10時半聖餐式〜15時夕の祈り・お茶。講師は小笠原忍司祭。祈祷書と昼食持参。申込み締めは11月20日。電話0422(48)4560。

▽東京聖三一教会では、かつての釜山―東京間のBTプロジェクトが縁となって、蔚山聖バルナ

バ教会と姉妹関係を持っており、隔年で往来しているが、今年は黄外達(ファン・ウエダル)司祭はじめ信徒11人を11月11日(土)〜14日(火)、迎え、交流と親睦のプログラムが行われる。一泊のホーム・ステイもあり、草の根の日韓親善が期待される。

▽五本木九条の会主催で『憲法を学ぶ』ビデオ上映会を11月22日(水)18時半〜20時半、聖パウロ教会で催す。本編「あたらしい憲法のはなし〜いま9条を考えよう〜」のあとミニ講座「憲法を考える」。憲法制定のいきさつ〓古関彰一、沖繩から見た憲法9条〓中村文子、イラクと日本国憲法〓高遠菜穂子、憲法を守るたたいの展望〓小森陽一、ほか。会場電話〓03(3710)6031。

▽聖公会神学院寮祭が11月25日(土)10時半〜14時半で行なわれる。神学院探検ツアーやフリーマーケットも。照会は同院学生会(担当・吉野)宛、電話03(3704)6197(月〜金・19時〜22時)。

▽COA活動11月は19日(毎月第3日曜)、浅草日曜給食活動のボランティア参加で過ごす。中高生、スタッフらの参加呼びかけをしている(参加連絡はprotozoa19-32@docomo.ne.jp)。

◇11月ランチタイムコンサート
 ＊30分程度・入場無料
 ・神田キリスト 15日(水)12時20分、オルガン〓和田純子
 ・聖テモテ 21日(火)12時30分、オルガン〓小野田良子

【学びと働きから】26

メリーランド教区から
兄弟姉妹を迎えて

東京諸聖徒教会では、20年以上の姉妹教会であるメリーランド教区「王なるキリスト教会」から5名のゲストを迎え、10月25日から11月2日(9日間)交流の時をもつことができた。

滞在中の最大のできごとは、教会創立一二五周年を祝う聖餐式(10月29日)だった。日英二ヶ国語で、聖書が朗読され、リリー司祭の説教(通訳付き)と、共同司式が進んでいくと、二つの文化が一つの礼拝に溶け込み、礼拝においてわたしたちを一つに結びつける聖霊の力を、共に感じる事ができた。

日々打ち解けて時間を過ごし、ホームステイ先を含めて、家族のように親しく、旧友のようになごやかに最後の夕食を共にした。幼稚園保護者もホームステイ受け入れに加わってくださり、他教会の協力も得て楽しく交わる良い機会ともなった。

「キリストにおける交わりはひとつ」という言葉の意味を味わいながら、今後の課題として、①教会に集う大人が信仰を新たにしていけるか、②プログラムをどう作り出しているか、③多様な民族・文化を包み込む会衆でありながら、それぞれの個性をどのように大切にしているかなど、多くのことを考えさせられた。

東京諸聖徒教会MD委員会

《今、この教会では》

立教学院諸聖徒礼拝堂

立教チャペルでは、二百名程の学生が様々な学生キリスト教団体に所属して活動している。

アコライトギルド、オーガニストギルド、聖歌隊、ハンドベルクワイア、日曜学校さゆり会、アジア寺子屋、BSA、GFS、ローバス。その活動を支えることが主日会衆の大切な役割とされているけれども、むしろ支えられているのは私たち会衆の方である。学生の皆さん、いつもありがとう。この若いパワーをチャペルに留まらせることなく、ぜひ他の教会の皆さんにも楽しんでいただきたい。興味を持たれた方は、どうぞチャペルまでご一報を！

(熊沢美華子)